

# 「合併後4年間の取り組みの成果」

- 住民が自殺の現状を受け止め、自分たちの問題として捉え、“なんとかしよう”と行動し始めた。
- 行政・住民が一体となり新町の地域づくりの一つの取り組みになった。
- 児童生徒の「心と生命」の教育が強化された。



# まとめ

# 1 合併がチャンス！ピンチをチャンスに！

\* 町の自殺の現状がわかった。

\* 思いを共有できる人が増えた。(住民&職員&保健師)

# 2 健康増進計画に自殺予防対策を位置付けた。

\* 住民参加型の策定は町の人と知り合う機会になった。

\* 対策を継続できる基盤ができた。(H28目標値 自殺者数ゼロ)

# 3 みんなが応援団！

\* 県、保健所、大学、住民、民間団体、教育機関、マスコミ